

【様式1】 平成29年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	関市	学校名	関市立洞戸小学校			
校長名	興戸浩道	対象学年	全学年	人数	74	人
活動名	わたしたちのふるさと「ほらど」	時間数	3～6年66 1～2年6	時間	継続年数	27年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他） [板取川 米づくり] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他） [円空を知る] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [円空彫り 洞戸俳句] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他） [キウイ] ⑤ 地域との積極的な関わりをつくる活動等 [福祉施設の訪問] ⑥ その他（地域の各行事への参加） [収穫祭 ピースベル キウイマラソン]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・どの活動も、地域の方の指導・協力なくしてはできない。指導者リスト、協力団体リストを引き継ぎ、どのような子どもを育てたいかの共通理解を密に行う。地域の指導者を積極的に活用する。 ・毎年全校で思いや願い発信する場を位置付けている。活動の意義を確認すると共に、次年度へと見通しをもたせる。指導者、保護者、お世話になった地域の方々を招待し参観していただく。 ・地域のケーブルテレビ、広報、新聞に情報を提供し、地域に広く学校の取組を知ってもらう。 					
<p>1 ねらい 「地域社会の一員としての自覚と明るく元気な地域社会を創り出す原動力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのふるさと「ほらど」の自然や伝統文化を愛し、ふるさとを大切に、誇りをもつ心をさらに高める。 ・地域の人と関わる中で、地域の人の思いや願いに気付き、自己の生き方について考えるとともに、地域社会の一員として地域に貢献しようとする態度を養う。さらに、明るく元気な地域社会を創り出す原動力となることを目指す。 <p>2 活動の概要 「どの活動も、子どもたちの思いや願いをもたせて実現させるための活動を目指す」</p> <p><全校>○洞戸俳句：「洞戸俳諧」と言われるほど俳句が盛んだったという歴史を知り、俳句づくりを学び受け継ぐ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校での季節の俳句づくり ・俳句教室2回 <p><3～6年>○米作り：地域の方の思いや願いに気付き異年齢で協力して活動する。収穫を感謝する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とともに ・田植え ・草取り2回 ・稲刈り ・収穫祭でもちつき、餅づくり <p><3年>○洞戸の名産「キウイフルーツ」：キウイに関わる観察や体験活動を通して洞戸の名産に関心をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受粉作業 ・摘花作業 ・キウイ畑の薫敷き ・収穫 ・選果場の見学 ・ジャムづくり <p><4年>○板取川：放流体験・実施調査をすることで板取川の環境に関心をもち川をきれいにする活動を実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稚アユの放流 ・カワゲラウオッチング ・ごみ調べ ・ごみ拾い ・川の利用の仕方の提案 <p><5年>○洞戸の福祉：障がい者や高齢者、年少者と共に生きるための課題を考え自分たちにできることを実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設の見学、訪問(交流) ・保育園への訪問(交流) ・高齢者、障がい者の疑似体験 花作り <p><6年>○円空：洞戸に関わりの円空について調べたり、円空仏彫などの体験をしたりすることにより円空の理解を深め、それを守ろうとする人たちの願いに気付き、洞戸を誇りに思い、地域に貢献しようとする態度を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円空調べ(洞戸円空記念館への見学) ・円空彫り体験 <p>3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月に収穫祭、年度末にふるさと学習の発表会を行い、地域の方や保護者を招待している。収穫祭は、長寿会等を中心とした地域の中心行事となっている。児童は、これらの会で自分たちの活動や思いを地域に発信している。 ・地域の諸団体の方に指導していただきながら活動している。地域の方も、洞戸の文化を引き継ぐことに生きがいを感じられるとともに、児童が洞戸地域の一員としての自覚と誇りをもちながら、積極的に学習に取り組んでいる。 ・地域限定のテレビ「キウイビジョン」で活動の様子を放映したり、洞戸の地域だより「ほらど通信」に掲載されたりして、地域の方に喜んでいただいている。また、地域の各種の行事に積極的に参加を切望されて、児童が参加している。 <p>4 活動を通しての児童生徒の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の長寿会、農業団体等の方とのふれあいの中から愛着と感謝の気持ちが生まれ、地域社会の一員としての自覚ができてきた。その結果、収穫祭が地域行事として位置付いたり、ピースベルフェスティバルやキウイマラソン大会等の行事に、鼓笛等での参加を切望され積極的に参加することで、明るく元気な地域社会を創り出す原動力となっている。 ・自分たちの地域には、誇れる産業、文化、自然があるのだという理解と誇りにつながっている。どの学年になったら洞戸の何を学ぶのかも理解し、楽しみにしている。ここ何年かの学習を発展させながら、児童の思いや願いをもとにした『わたしたちのふるさと「洞戸」』と題した学習が実践できるようになってきた。 						